

75年苦難の歩み回顧

婦人会大阪 記念式典に300人

【大阪】婦人会大阪本部(朴米子会長)が1日、大阪市内のホテルで創立75周年記念式典を開催した。結成は中央本部の発足の1948年9月30日。全国初の地方本部として在同胞社会の利益擁護もよりオモニコロフをはじめとする文化活動、ホームヘルパー養成講座などの福祉事業でも先駆的な実績を残してきた。

関係者300人が出席した。これからは、近隣の兵庫、京都、奈良、滋賀からも役員が参加し、地域社会、在日同胞社会の発展に寄与していかねばならないと決意を述べた。朴米子会長は「75年という数字にはどんな困難にも会員と一緒になって立ち向かってきた歴史。汗、様々な辛酸を噛みながら歩んできた。ひとたび長年の血と汗の結晶が、ひとたびの足跡を振り返った。」

駐大阪韓国総領事館の金亨駿総領事は「これからの在日同胞社会の発展に、婦人会の牽引を期待している」と述べた。式典は先立ち会場中央のスクリーン映像で75年の足跡を振り返った。



式典を締めくくるマンセー三唱(大阪市内のホテルで)

△1948年9月30日 婦人会大阪本部結成
△50年8月 韓国動乱救済特別委員会設置
△53年8月 九州地区風水害救援運動
△66年10月 第1回秋季大運動会
△69年7月 出入国管理法案反対デモ
△70年6月 水俣病促進学習会
△72年9月 読売大阪本社へ糾弾書
△73年7月 本報セマウル運動資金
△74年8月 文世光・吉井善子糾弾150日間運動講演会
△75年4月 「万景峰号」寄港反対デモ
△76年2月 サリン・カンパ「移住運動」
△90年12月 「91年問題」要求書韓国婦人代表者団代表者団へ提出
△96年11月 大阪府「高輪者」交付金交渉
△97年3月 第1回チャリティゴルフコンペ開催
△97年3月 コレハ開演
△97年4月 「食糧危機」(仮称)アジア村に特別助成金
△98年6月 第1回「国籍奉還」全廃交渉
△98年10月 第1回婦人会「お母さん」(仮称)会
△99年9月 金浦洞窟事務所大阪公式訪問歓迎
△99年10月 台風7号「ハビ」被災地支援チャリティゴルフ大会
△00年1月 老人ホーム「生園」へ誠意伝達
△00年1月 神戸建設基金「養成講座」開講
△01年6月 大阪府「大阪府籍全廃交渉」交渉
△04年10月 オモニコロフ第1回発表会
△05年5月 「オモニコロフ」創立25周年記念演奏会
△05年10月 第1回婦人会「お母さん」(仮称)会
△07年2月 愛神堂「お母さん」(仮称)会
△07年2月 愛神堂「お母さん」(仮称)会
△07年10月 第1回婦人会「お母さん」(仮称)会
△08年10月 第1回婦人会「お母さん」(仮称)会
△16年1月 第1回婦人会「お母さん」(仮称)会
△17年11月 第1回オモニコロフ大会
△18年2月 第2回オモニコロフ大会
△18年2月 第2回オモニコロフ大会
△18年2月 第2回オモニコロフ大会
△18年2月 第2回オモニコロフ大会
△18年2月 第2回オモニコロフ大会



伝統芸能とKポップ

「民団韓流文化マダン」

大阪公演に1000人満席

【大阪】民団大阪本部(李元徴会長)は3日、15年続いた「韓国伝統文化マダン」をリニューアルして「民団韓流文化マダン」として開催した。大阪市内の大阪交流センターは1000人の観客で満席となった。李会長は「K-POPや韓国ドラマなど、あらゆる韓流文化を通じて、韓国と日本の文化交流を促進し、韓日友好促進事業を積極的に進め、韓国、日本のみならず、各国、各民族が互いの文化を理解、尊重し、認め合えることのできる多文化共生社会のために民団は寄与したい」と抱負を語った。



因でさまざまな音楽番組「F・a・b・l・e」がキレのダンスリズムで観客を魅了した。

Kポップフェス

民団三重が主催
(股野基樹)は11月20日、津市西のホールで三重K-POPダンスフェスティバル「Konnnect」を開催した。今年度は昨年を上回る27チーム、観客400人から大盛況を享受した。股野基樹は「民団という団体の紹介しながら韓日友好のために、これからもいろいろな形で努力していきたい」と思いを語った。

在日の100年 追体験

民団東京「歴史探訪」

関東大震災跡地など



関東大震災殉難同胞追悼碑前で黙とうする民団関係者ら(東京・墨田区)

在日同胞の足跡をたどる、その苦難の生活史を追体験する「歴史探訪」が11月1日、東京都内で行われた。民団東京本部(李善源団長)が企画した。今回は3回目。

在日同胞の足跡をたどる、その苦難の生活史を追体験する「歴史探訪」が11月1日、東京都内で行われた。民団東京本部(李善源団長)が企画した。今回は3回目。

北海道で在日同胞交流開催

青年会東京本部「北海道」青年会東京本部(鄭昌昊会長)は北海道で在日同胞青年交流会を行った。16人が参加。初日の11月26日は札幌市内で民団北海道本部の林耕成団長を特別講師に、アイヌ民族について講義を受けた。翌日は白老町に建つアイヌ文化のナショナルセンター「ウボボイ」(民族共生家)を訪れ、その歴史を学んだ。

新韓国商人連3年ぶり4回目ハンマダン祭り

新大久保で

韓日友好キムジャン

婦人会滋賀 オンギ制作とコラボ

【滋賀】キムチを漬けた、自身でつくったオリジナルキムチを、信楽焼の地元からととえる体験講座が甲斐市の滋賀県立陶芸の森であった。



婦人会滋賀本部が指導したキムチ漬け体験

11月26日、シガラク・シテ・スタジオでのキムチ漬体験では、婦人会滋賀本部が材料を準備し、李会長自ら指導にあたった。李会長は「キムチ講座は、初めてでも、オンギ制作のコラボは初めて。自分がつくったキムチを、二倍味わいがあるのでは、日本人の参加者も喜んでくれた」と話した。李会長は「これからは、地域交流を深めた行事を企画していきたい」と話した。

ハンゲル講座

民団佐賀本部(朴私団長)は1日、同本部のハンゲル講座を受講生に人気

地域住民との親睦交流図る

民団岐阜本部(董勝正団長)は11月18日、同本部が主催する「キムチ教室」を開催した。この日は、地域住民25人が参加し、手づくりのキムチを漬けた。講師は、韓国から来た経験豊富な主婦。団員と地域住民が交流を深めながら、さまざまな行事を企画していきたいと期待を込めた。

心の傷を癒しあう

脱北同胞 関東地区で交流会

【東京】脱北同胞関東地区で交流会が11月26日、東京都内で開催された。二団長が公務出張先から帰った後、心身の健康を維持するための交流会が11月26日、東京都内で開催された。



温泉招待券が当たったオリニ

この日、来賓として参加した北朝鮮難民救援基金の加藤理事長が、脱北者自身に聞き取り調査したところ、苦難の末、日本にたどり着いてからすでに10年以上、20年前後が経過していた。10年以上は1人だけ、日本での生活が定着していることがわかった。

「新大久保多文化」マダンマダン(新韓国商人連)

同連合会主催、新大久保商店街振興協会、インターナショナル事業者交流会(主催)が11月23日、東京・新大久保の西大久保会館で開催した。3年ぶり4回目の開催。

韓日友好キムジャン

婦人会滋賀 オンギ制作とコラボ

【滋賀】キムチを漬けた、自身でつくったオリジナルキムチを、信楽焼の地元からととえる体験講座が甲斐市の滋賀県立陶芸の森であった。



婦人会滋賀本部が指導したキムチ漬け体験

11月26日、シガラク・シテ・スタジオでのキムチ漬体験では、婦人会滋賀本部が材料を準備し、李会長自ら指導にあたった。李会長は「キムチ講座は、初めてでも、オンギ制作のコラボは初めて。自分がつくったキムチを、二倍味わいがあるのでは、日本人の参加者も喜んでくれた」と話した。李会長は「これからは、地域交流を深めた行事を企画していきたい」と話した。

ハンゲル講座

民団佐賀本部(朴私団長)は1日、同本部のハンゲル講座を受講生に人気

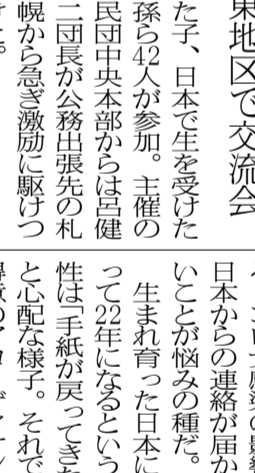
地域住民との親睦交流図る

民団岐阜本部(董勝正団長)は11月18日、同本部が主催する「キムチ教室」を開催した。この日は、地域住民25人が参加し、手づくりのキムチを漬けた。講師は、韓国から来た経験豊富な主婦。団員と地域住民が交流を深めながら、さまざまな行事を企画していきたいと期待を込めた。

心の傷を癒しあう

脱北同胞 関東地区で交流会

【東京】脱北同胞関東地区で交流会が11月26日、東京都内で開催された。二団長が公務出張先から帰った後、心身の健康を維持するための交流会が11月26日、東京都内で開催された。



温泉招待券が当たったオリニ

この日、来賓として参加した北朝鮮難民救援基金の加藤理事長が、脱北者自身に聞き取り調査したところ、苦難の末、日本にたどり着いてからすでに10年以上、20年前後が経過していた。10年以上は1人だけ、日本での生活が定着していることがわかった。

「新大久保多文化」マダンマダン(新韓国商人連)

同連合会主催、新大久保商店街振興協会、インターナショナル事業者交流会(主催)が11月23日、東京・新大久保の西大久保会館で開催した。3年ぶり4回目の開催。

東日本1都1道7県を結ぶ、あすか信用組合のネットワーク

お申し込み・お問い合わせは、お近くの本・支店へどうぞ。

本店営業部 ☎03-3208-5101	足立支店 ☎03-3849-5111	秋田支店 ☎018-833-5111
上野支店 ☎03-3832-5141	蒲田支店 ☎03-3733-5101	盛岡支店 ☎019-635-9100
恵比寿支店 ☎03-5798-2551	大宮支店 ☎048-638-3540	郡山支店 ☎024-922-7200
立川支店 ☎042-522-5131	仙台支店 ☎022-221-3361	融資営業部 ☎03-3208-5132
錦糸町支店 ☎03-6756-8421	札幌支店 ☎011-521-0131	国際営業部 ☎03-3208-5108
池袋支店 ☎03-3983-5241	青森支店 ☎017-777-1448	メールオーダー専用店舗 ☎0120-432-830 (あおは支店)

https://www.asuka-c.jp

